

令和6年度 シラバス 【情報Ⅰ】

1 1 新潟県立新潟翠江高等学校（通信制課程）

履修区分	単位数	レポート提出回数	最低出席時数	試験回数
必修修	2	6	6	2
教科書		学習書・副教材等		
新編 情報Ⅰ（東京書籍）		副教材：新編 情報Ⅰ 資料ノート（東京書籍）		
グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①生涯にわたって自ら意欲的に学び続け、目標に向かって努力する態度を育成します。 ②互いの人権や考えを尊重し、命を大切にする心と行動力を育成します。 ③社会的・職業的自立に必要な勤労観や職業観を育成します。			
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行う～ ①多様な生徒の学習歴や興味・関心に合わせた科目選択ができる教育課程を編成します。 ②思考力・判断力・表現力の獲得を目指した、学びを充実させる丁寧な面接指導(スクーリング)を行います。 ③生徒が自学自習しやすい報告課題(レポート)を作成し、生徒の学びを深める丁寧な添削指導を行います。 ④放送視聴や平日校外スクーリングなど、通信制の特徴を活かした多様な学び方を促します。 ⑤コミュニケーション能力の伸長を図るため、生徒交流会や運動会、体験学習等の特別活動を行います。			
学 習 目 標				
情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う。				
学 習 内 容				
1. 情報とメディアの特性 ～ 7. 著作権（第1回レポート） 8. 情報技術の発展 ～ 13. デジタルの世界へ（第2回レポート） 14. 数値と文字のデジタル表現 ～ 20. 情報デザインの流れ（第3回レポート）				前期試験範囲
21. コンピュータとは何か ～ 26. プログラムの基本構造2（第4回レポート） 27. 発展的なプログラム1 ～ 33. サーバとクライアント（第5回レポート） 34. インターネット上のサービス ～ 40. 目的に合わせたデータの利用（第6回レポート）				後期試験範囲
学 習 方 法				
<レポート> 教科書の基本的な事項を確認する問題です。ほとんど教科書の中から出題されます。教科書をよく読んで解答しましょう。また、漢字もきちんと書くようにしましょう。乱暴に書いて読めない場合は、採点できません。また、毎回、実習課題があります。実習課題を行わないとレポートは不合格になります。自分の意見や考えをまとめる課題ですのでしっかりと取り組みましょう。				
<授業> 授業では、レポートの内容だけではなく、教科書を利用して、情報社会を生き抜くための大切なことがらを解説します。また、実習課題の取り組み方について、丁寧に解説します。				
<放送視聴> 指定された番組を視聴して、放送内容をレポート冊子の巻末にある放送視聴報告書にまとめます。レポートに添付して提出、合格すれば義務時数の代替になります。				
<試験> 試験問題の大半はレポート課題から出題します。漢字の間違いに気をつけましょう。返送されてきたレポートをしっかりと復習し、問題を繰り返し解いておきましょう。				

評 価 規 準 と 評 価 方 法		
レポートの評価，スクーリングの出席状況，定期考査の成績を総合して評価をします。 レポート・定期考査の評価は次の観点から行います		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。
担 当 者 よ り 一 言		
「情報Ⅰ」は，コンピュータなど，情報機器の操作を学ぶ科目ではありません。情報モラルや法律，プログラミングの基本など情報社会に必要な知識を学ぶことを第一としています。小中学校でも情報機器の操作を学ぶ今，それ以上に大切なことは何なのかということを考えられるようになって欲しいと思います。		